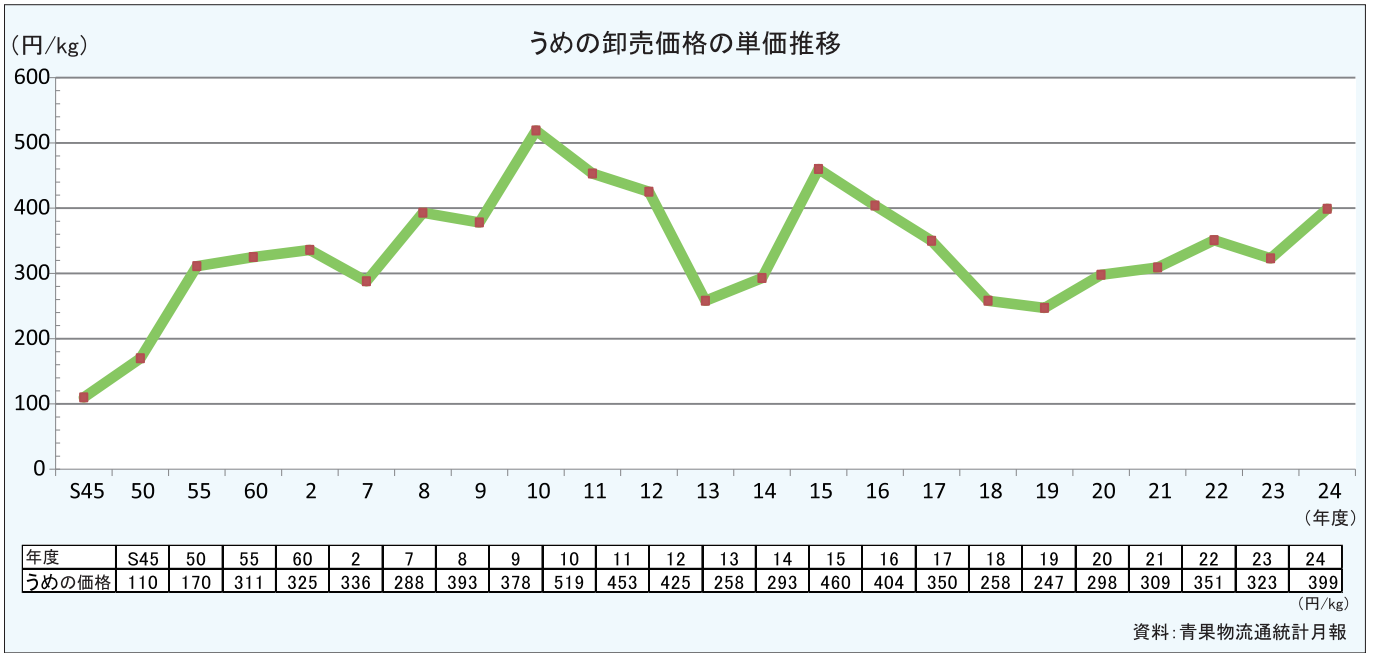


# 梅の単価推移



# 梅の消費動向

## 梅干しの需要

梅干しの消費について、金額・数量とも増加傾向にありましたが、金額は平成12年度から、数量は平成15年度から徐々に減少しています。

金額・数量ともピーク時に比べ、平成25年では約3割減少していますが、ほぼ横ばい傾向です。

また、年齢別に見ると金額・数量とも年齢が上がるほど上昇する傾向にあります。

